

農業技術 プリズム

ギニアグラス（ナツカゼ）、スーダングラス（プレミアムスーダン）、青刈りヒエ類（グリーンミレット中生、青葉ミレット）が高い乾物収量でした。
さらに、これらの草種（品

ここ数年、輸入飼料価格が高騰し、養牛農家の生産コストが増加しており、農家所得の向上には、自給飼料の活用による飼料費の低減が重要です。

本県の自給飼料生産は、水田での牧草類栽培が作付面積の約5割を占めています。その収量は畑の場合と比較すると、半分程度という現状です。

その原因の一つは、排水不良圃場（ほじょう）の影響を受ける暖地型飼料作物の選定にあると考えられます。

そこで、6草種（12品種）の暖地型飼料作物について、排水不良条件下で収量と栄養価を検討しました。

水位区分（地下0〜15cm）を設定したポット試験では、

水田での牧草類栽培

「グリーンミレット」 収量も栄養も高水準

種）による圃場試験では、「グリーンミレット中生」が、最も乾物収量が高く、可消化養分総量（TDN）に優れていたことから、排水不良圃場での暖地型飼料作物とし

圃場試験における収量と栄養価

草種	品種	乾物収量 (kg/a)			栄養価 (TDN) (乾物%)	
		H30	R1	平均	H30	R1
ギニアグラス	ナツカゼ	41.0	52.1	46.6	51.9	56.5
スーダングラス	プレミアムスーダン	67.9	62.7	65.3	52.5	55.5
青刈りヒエ類	グチーンミット中生	91.0	99.8	95.4	53.0	54.8
	青葉ミレット	45.0	51.8	48.4	50.9	54.4
平均		61.2	66.6	63.9	52.1	55.3

【栽培利用】H30:播種（はしゆ） 6/12 刈り取り 9/24、H31:播種 5/28 刈り取り 8/24
※各品種とも再生なし

て有望な品種と分かりました。今後、自給飼料の生産向上に向け、県関係機関と市町、団体などと連携して、推進を図ります。
（長崎県農林技術開発センター畜産研究部門 大家畜研究室 主任研究員 緒方剛）